

2023年10月5日

公益社団法人日本分析化学会
正会員 教育会員 維持会員代表者 各位

公益社団法人日本分析化学会
役員等候補者選考委員会

代議員候補推薦並びに代議員としての立候補のお願い

公益社団法人日本分析化学会定款第14条及び公益社団法人日本分析化学会代議員選挙規則に基づき、2024年度及び2025年度の代議員候補（任期2年）の推薦のご案内及び立候補受付のお知らせをいたします。下記の定款並びに代議員選挙規則（各抜粋）をご覧ください。代議員候補者のご推薦（支部宛）または立候補（役員等候補者選考委員会宛）を奮ってお願いいたします。

ご推薦、または立候補いただいた方々のお名前は、機関誌「ぶんせき」1月号にて会員に通知し、正会員（名誉会員、永年会員、シニア会員を含む）、教育会員、維持会員代表者による投票を依頼します。

- 1) 代議員候補者の推薦方法：所属支部の正会員、教育会員、維持会員代表者の中から代議員として適当と思われる方（複数可）を **2023年11月6日（月）までに支部長宛**に書面をもって推薦してください。
- 2) 代議員としての立候補方法：**2023年11月6日（月）までに役員等候補者選考委員長宛**に書面をもって届け出てください。

公益社団法人日本分析化学会定款（抜粋）

- 第14条 学会の社員は、正会員、教育会員及び維持会員の中から選出された90名以上130名以内の代議員をもって「一般法人法」の社員とする。
- 2 代議員を選出するため、正会員、教育会員及び維持会員による代議員選挙を行う。代議員選挙を行うために必要な細則は理事会において別に定める。
 - 3 代議員は、正会員、教育会員及び維持会員の中から選ばれることを要する。正会員、教育会員及び維持会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。
 - 4 第2項の代議員選挙において、正会員、教育会員及び維持会員は他の正会員、教育会員及び維持会員と等しく代議員を選挙する権利を有する。理事又は理事会は、代議員を選出することはできない。
 - 5 第2項の代議員選挙は、2年に1度、1月に実施することとし、代議員の任期は、選任の2年後に実施される代議員選挙終了の時までとする。（中略）
 - 11 会員の資格を喪失した場合には、代議員の資格を喪失する。

公益社団法人日本分析化学会代議員選挙規則（抜粋）

（代議員選挙の管理）

第4条 代議員選挙は、選考委員会の管理のもとで行う。

（代議員支部推薦候補者の選考）

第5条 支部は、支部所属の正会員、教育会員及び維持会員の中から候補者を推薦できるものとする。

- 2 支部は前項の推薦をするにあたっては、広く支部所属の正会員、教育会員及び維持会員に推薦希望の有無を募らなければならない。
- 3 支部長が、会長に推薦する代議員候補者中には、当年度の役員及び支部長であって退任する者及び次期支部長を含むことができる。

（代議員支部推薦以外の立候補者の届け出）

第6条 正会員、教育会員及び維持会員のうち、代議員に立候補しようとする者は、自薦又は正会員、教育会員及び維持会員の推薦により、選考委員会に、その定める締切日までに届け出る。

お知らせ

(代議員選挙の方法)

- 第7条 各支部の推薦候補者数は、当該支部に所属する年度初めの正会員、教育会員及び維持会員の数を勘案の上、選挙のつど理事会が決定し、選考委員会に通知する。
- 2 選考委員会は、正会員、教育会員及び維持会員に対して機関誌による広告により代議員選挙を案内し、立候補者を募集する。選考委員会は、各支部に代議員選挙を案内する。
 - 3 選考委員会は支部推薦候補者を機関誌の広告により各支部の正会員、教育会員及び維持会員に周知させ、支部推薦以外の立候補者を同様の方法により全正会員、教育会員及び維持会員に周知させる。
 - 4 支部推薦によって選出された代議員が、その選出された支部から別の支部に所属を変更した場合でも、選出された支部の定数に含まれるものとする。

立候補届出先

役員等候補者選考委員会

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2-304 (公社)日本分析化学会内

推薦届出先

役員等候補者選考委員会 同上

- 北海道支部 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院応用科学部門内
- 東北支部 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07 東北大学大学院環境科学研究科
先端環境創成学専攻
- 関東支部 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2-304 (公社)日本分析化学会内
- 中部支部 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル7F (公財)中部科学技術センター内
- 近畿支部 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 (一財)大阪科学技術センター内
- 中国四国支部 〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科(化学プログラム)
- 九州支部 〒870-1192 大分県大分市旦野原700 大分大学理工学部

[補足] 新法人下における代議員については、代議員が法律上の社員となることのできる下記の5要件を満たしていなければなりません。これらに留意して作成された学会定款並びに代議員選挙規則により適正に選出されることが求められています。

[5要件] ①「社員」(代議員)を選出するための制度の骨格が定款で定められていること、②各会員について「社員」を選出するための選挙(代議員選挙)で等しく選挙権及び被選挙権が保障されていること、③「社員」(代議員)を選出するための選挙が理事及び理事会から独立して行われていること、④選挙された「社員」(代議員)が責任追及の訴え、社員総会決議取消の訴えなど法律上認められた各種訴権を行使中の場合には、その間、当該社員(代議員)の任期が終了しないこととしていること、⑤会員に「社員」と同等の情報開示請求権等を付与すること。

以上

第84回分析化学討論会 —開催要項—

第84回分析化学討論会は下記の通り開催の予定です。今回は、講演分類を分析対象により分類し、従来の討論会とは異なる横断的な討論を期待しています。また、実行委員会では、いくつかの討論主題を設定していますが、8月1日、9月1日発行のメールマガジンでお知らせしたとおり、10月4日締切で、会員の皆さまからも新しい講演分類に即した討論主題を募集しています。

なお、講演申込、参加登録の案内については本誌12月号「お知らせ」欄に掲載いたしますが、全てweb上からの申込、要旨提出となります。

新しい講演分類については、討論会公式ホームページが立ち上がるまでは、分析化学会近畿支部にリンクされたホームページを通して案内しますので、そちらを参考にしてください。討論会のチラシも同HPに掲載しますので、ご活用ください。

開催期日 2024年5月18日(土)・19日(日)

会場 京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス〔京都市左京区松ヶ崎橋上町1〕

懇親会 5月18日 ホテルオークラ京都〔京都市営地下鉄「京都市役所前」駅直結〕

講演申込開始 2023年12月13日(水)

講演申込締切 2024年1月24日(水)

講演要旨提出締切 2024年3月6日(水)

第84回討論会 web サイト(暫定)

<http://www.bunkin.org/2023/84touronkai.html>

(公式の討論会サイトは12月に開設します。本URLはそれまでの仮設サイトとなります。近畿支部HPからもアクセスできます)

実行委員会提案 討論主題

1) 「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」(市民公開講座)

オーガナイザー：辻 幸一(大阪公立大)、
藤原 学(龍谷大)

2) 「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」

オーガナイザー：布施泰朗(京工繊大)、
長谷川浩(金沢大)

3) 「ものづくりを支える分析化学」

オーガナイザー：山本雅博(甲南大)、
駒谷慎太郎(堀場テクノサービス)

4) 「宇宙と分析化学」(市民公開講座)

オーガナイザー：村松康司(兵庫県大)、
大城敬人(大阪大)

2024年度液体クロマトグラフィー分析士 五段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2024年3月6日(水) 14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出)、筆記試験(記述式)及び面接試験を総合して可否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会にお

ける講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭LC分析士四段の登録番号、⑮その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士四段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 2月26日(月)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349

名義：(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。なお、試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係

[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

2024年度液体クロマトグラフィー分析士 四段認証試験

下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 2024年3月13日(水) 14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表、投稿を通して、技術的議論が行え、講習会の講師が務まるレベル。また、当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し、博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して可否を決定します。書類選考用資料には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧口頭発表(適当数)、⑨学位の有無、⑩LC分析士三段の登録番号、⑪その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、1)英文和訳問題、2)与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題、の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士三段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料を銀行振込後、書類選考用資料を資料送付先にお送りください。

申込締切 3月4日(月)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349名義：(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。

なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。試験が中止された場合は、次回の受験料を免除します。

資料送付先・問合せ 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会・分析士認証試験係

[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

第59回 X線分析討論会

—当日参加募集—

主催 (公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会

協賛 (公社)日本化学会, 他

期日 2023年10月21日(土)・22日(土)

会場 東京都市大学世田谷キャンパス〔東京都世田谷区玉堤1-28-1〕

主題 1) 実験室系 X線源・小型 X線源による迅速分析, 2) X線分析と各種分析技術の融合による先端科学への応用, 3) X線要素機器の開発と X線分析への展開, 4) X線イメージングおよび顕微解析, 5) X線吸収分光と電子分光 (XAFS, EELS), 6) 表面分析 (XPS, TXRF 等), といったテーマに沿って発表, 講演, 討論を行います。

討論会プログラム

第1日(10月21日)

受付開始 (8.50~)

開会挨拶 (9.20~9.30)

第1セッション (9.30~10.50)

O1-1S α, γ 混相酸化ガリウムにおける XAFS を用いた定量的構造解析と触媒活性の評価 (1 阪公大院, 2 阪公大人工光合成センター) ○太田尚人 1, 山本宗昭 2, 田邊哲朗 2, 吉田朋子 2

O1-2S 放射光 XAFS を用いた希土類と窒素間の微小な相互作用の差異による吸着特性の評価 (1 東京都市大, 2 原子力機構, 3 東工大) ○箕輪一希 1, 2, 渡部 創 2, 中瀬正彦 3, 渡邊真太 3, 伴 康俊 2, 松浦治明 1

O1-3S 高温における Ni-K 端 XAFS を用いたアルミノシリケートガラス融液の構造解析 (1 東工大, 2 日本板硝子) ○毛利聖恵久 1, 富田夏奈 1, 岸哲生 1, 矢野哲司 1, 倉上拓真 2, 榎枝竜之介 2, 白木康一 2, 宮部大亮 2

O1-4S タンパク質の熱変性におけるペプチド結合の in-situ XANES 測定 (兵庫県大院) ○下垣郁弥, 村松康司

休憩 (10.50~11.00)

第2セッション (11.00~12.00)

O1-5S HAXPES と XAS を用いた応力印可した PTFE の電子状態の解明 (1 兵庫県大, 2 マツダ) ○藤谷海斗 1, 山口明啓 1, 内海裕一 1, 住田弘祐 2, 鈴木 哲 1

O1-6S 電気化学的 CO₂ 還元用層状複水酸化物触媒の X線分析 (1 阪公大院, 2 阪公大, 3 阪公大人工光合成センター) ○小山楓貴 1, 溝口晋也 2, 山本宗昭 3, 田邊哲朗 3, 吉田朋子 3

O1-7S マンガンを添加したヒドロキシアパタイトの X線分析 (1 千葉大院融合理工, 2 放医研, 3 千葉大院理) ○寺内美裕 1, 佐藤遼太郎 1, 小笠原諭 3, 村田武士 3, 葉丸晴子 2, 武田志乃 2, 沼子千弥 3

昼休み (12.00~13.00)

ポスターセッション (13.00~15.00)

P-1S 金属錯体の X線光電子スペクトルと分子軌道計算 (1 龍谷大院, 2 龍谷大先端理工) ○小川颯太 1, 藤原学 2

P-2 ポータブル全反射蛍光 X線装置を用いた毛髪ミネラル分析 (1 アワーズテック, 2 ナンバースリー) ○永井宏樹 1, 山田竜二 2

P-3S 溶液試料の全反射蛍光 X線分析に適した乾燥痕の作製 (阪公大院) ○谷口尚哉, 辻 幸一, 松山嗣史

P-4 月面ローバのトランスミッション摩擦面における摺

動被膜の分析 (1 豊田中研, 2 トヨタ自動車, 3 JAXA, 4 ENEOS) ○高橋直子 1, 小坂 悟 1, 磯村典武 1, 佐野敏成 2, 横山 崇 3, 松本康司 3, 剣持伸朗 3, 小原新吾 3, 多田亜喜良 4

P-5 X線位相コントラストイメージングの歯科標本への応用 (1 日大量科研, 2 日大松戸歯, 3 日大大学院) ○高橋由美子 1, 河野哲朗 2, 高村幸恵 3, 富樫佑也 3, 早川恭史 1, 寒河江登志朗 2, 岡田裕之 2

P-6 反応-拡散-反応過程で生成する Ag/Ag₂O の沈殿パターン X線分析 (日本女子大) ○山田佳歩, 林 久史

P-7 高感度軽元素対応 Micro XRF を用いた各種試料の分析事例 (1 堀場製作所, 2 堀場テクノサービス) ○柳井優花 1, 森田麻由 2, 松永大輔 1, 村田駿介 1, 西村智椰 1, 中野ひとみ 2, 青山朋樹 1, 駒谷慎太郎 2

P-8 元素イメージング分析が示す木材中の元素分布の樹種特性 (1 堀場テクノサービス, 2 森林研究・整備機構) ○安保拓真 1, 児嶋美穂 2, 中野ひとみ 1, 安部 久 2, 駒谷慎太郎 1

P-9 高エネルギー SR-XRF 広範囲イメージングによる組織内セシウム分布様態の把握 (1 量研・放医研, 2 千葉大院理, 3 JASRI) ○葉丸晴子 1, 田中 泉 1, 阿山香子 1, 沼子千弥 2, 田中美香 1, 横地和子 1, 寺田靖子 3, 星野真人 3, 上杉健太郎 3, 石原 弘 1, 武田志乃 1

P-10S ミクロトームを用いて作製した毛髪切片試料の全反射蛍光 X線分析 (阪公大院) ○平山優佳, 松山嗣史, 辻 幸一

P-11S 描画試料や凹凸のある試料に対しての微小部蛍光 X線元素イメージング (阪公大院) ○藤井蓮唯羅, 小澤博美, 松山嗣史, 辻 幸一

P-12S 小惑星リュウグウ試料片の全反射および微小部蛍光 X線分析装置による測定 (1 阪公大院, 2 東大院) ○安田 天 1, 松山嗣史 1, 高橋嘉夫 2, 辻 幸一 1

P-13 多層膜 FP法を用いた各種薄膜試料上めっき厚さの面分布表示 (1 堀場テクノサービス, 2 堀場製作所) ○中野ひとみ 1, 松永大輔 2, 柳井優花 2, 馬場朋広 2, 村田駿介 2, 青山朋樹 2, 駒谷慎太郎 1

P-14S シート状 X線ビームを用いた全視野型蛍光 X線イメージング (阪公大院) ○宮原知也, 松山嗣史, 辻 幸一

P-15S 波長分散型蛍光 X線イメージングにおける空間分解能の向上を目指した研究 (阪公大院) ○野路悠斗, 福本彰太郎, 松山嗣史, 辻 幸一

P-16S 共焦点型蛍光 X線分析による爪試料内部の元素イメージング (阪公大院) ○浦田泰成, 松山嗣史, 辻 幸一

P-17 軟 X線イメージング XAS 技術の開発とその評価 (1 兵庫県大, 2 コベルコ科研) ○中西康次 1, 今道祐翔 1, 神田一浩 1, 森 拓弥 2, 大園洋史 2

P-18 リチウムイオン電池次世代高容量 Si 負極と電解質との反応解析, ならびに充放電挙動への影響 (1 兵庫県大, 2 コベルコ科研) ○中西康次 1, 今道祐翔 1, 神田一浩 1, 森 拓弥 2, 大園洋史 2

P-19 X線吸収分光法を用いた微生物中の金属分析方法の検討 (1 東大, 2 量研, 3 千葉大, 4 原子力機構) ○加藤由悟 1, 2, 上原章寛 2, 佐藤遼太郎 2, 3, 松村大樹 4, 辻 卓也 4, 城 鮎美 2, 武田志乃 2, 鈴木道生 1

P-20S 使用済核燃料から発生する核分裂生成物の触媒適用-模擬白金族合金の結晶構造評価- (1 東京都市大, 2 原子力機構) ○樽見直樹 1, 山崎晃也 1, 杉崎麻子 1, 佐藤 勇 1, 松浦治明 1, 奥村雅彦 2

P-21S 絶縁性コピー用紙に描いた各種インク的全電子収量軟 X線吸収分析 (兵庫県大院) ○豆崎美夢, 村松康司

- P-22S DFT 計算による窒素含有芳香族化合物のCK 端・NK 端 XANES 解析 (兵庫県大院) ○山田咲樹, 村松康司
- P-23 DFT 計算によるイミダゾリウム系イオン液体の XANES 解析 (2) TFSA 系と FSA 系アニオンの差異 (兵庫県大院) ○宇田真之介, 村松康司
- P-24S 軟 X 線吸収分光法と第一原理計算によるシリコンドープナノダイヤモンドの電子状態解析 (2) SiC との比較 (1 兵庫県大院, 2 ダイセル) ○濱田隆暉 1, 劉明 2, 西川正浩 2, 村松康司 1
- P-25 X 線回折・蛍光同時測定を用いた高分子材料中の結晶構造及び元素分布可視化 (住友電工) ○徳田一弥
- P-26S 共焦点配置での微小部 X 線回折法の基礎検討 (阪大院) ○奥田晟生, 福本彰太郎, 松山嗣史, 辻 幸一
- P-27 吹管分析法からスペクトル分光分析法へ (福岡大, 佐賀大, 名古屋大) ○脇田久伸
- P-28S 蛍光 X 線スペクトルの短時間取得に向けたベイズ推定の適用 (1 阪公大, 2 阪公大院, 3 原子力機構) ○五十嵐萌々 1, 安田 天 2, 松山嗣史 2, 林 和則 2, 町田昌彦 3, 辻 幸一 2
- P-29 検出器内で発生する事象を含めた理論スペクトル計算 (堀場製作所) ○村田駿介, 柳井優花, 松永大輔, 青山朋樹
- P-30S セリウム/ガドリニウムの分離回収に向けた溶融塩実験による沈殿物の構造評価 (1 東京都市大, 2 原子力機構) ○古澤俊輔 1, 高畠容子 2, 松浦治明 1, 山本由理 1, 箕輪一希 1
- P-31S 過酷事故時に発生する Cs 及び I がエポキシ塗料へ及ぼす影響評価 (東京都市大) ○藤野大生, 松浦治明, 佐藤 勇
- P-32S 炭素に担持させた塩化銅 (II) の熱化学的および電気化学的コンバージョン過程の化学状態解析 (立命館大院) ○中村駿希, 稲田康宏
- P-33S 単細胞藻類に高蓄積されたセレンとテルルの化学形態分析 (1 東京電機大, 2 東京電機大院, 3 産総研) ○小高滉平 1, 所 雅人 2, 稲葉健介 2, 保倉明子 1, 熊谷和博 3
- P-34S 蛍光 X 線分析によるステンレス表面ウラン汚染の評価 (1 東邦大, 2 量研, 3 阪公大) ○柳澤右京 1,2, 松山嗣史 2,3, 酒井康弘 1,2, 吉井裕 1,2
- P-35S 北部九州の製鉄遺跡から出土した鉄製遺物の原料推定 (1 福岡大院, 2 福岡大) ○松木麻里花 1, 市川慎太郎 2, 栗崎 敏 2
- P-36S ジルコニウムを添加したハイドロキシアパタイトの X 線分析 (1 千葉大院融合理工, 2 量研, 3 東大院農, 4 原子力機構, 5 名大院工, 6 千葉大院理) ○佐藤遼太郎 1, 寺内美裕 1, 上原章寛 2, 武田志乃 2, 加藤由悟 3, 松村大樹 4, 高見誠一 5, 沼子千弥 6
- P-37S 燃焼灰中微量元素の化学形態評価 (1 東京都市大, 2 中国電力) ○山崎晃也 1, 角谷 貢 2, 迫谷聡介 2, 松浦治明 1
- P-38S X 線分析を用いた世界各国の溶出試験による都市ごみ焼却飛灰の特性評価 (1 明大院, 2 リガク, 3 明大) ○関野梨名 1, 白田ひびき 1, 松田渉 2, 大淵敦司 2, 小池裕也 3
- P-39S 純銅の高温圧縮変形に伴う集合組織と転位形成に対する中性子回折観察 (1 茨城大, 2 三菱マテリアル, 3 東京電機大, 4 東北大) ○河野龍星 1, 長岡佑磨 2, 伊東正登 2, 小貫祐介 3, 鈴木 茂 4, 佐藤成男 1
- P-40S 中性子回折を用いた晶出物を含む Al 合金における変形中のマイクロ組織解析 (1 茨城大, 2 横国大, 3 神戸製鋼所) ○小竹巧真 1, 鈴木 健人 1, Pramote Thirathipiwat 2, 松本克史 3, 越能悠貴 3, 佐藤成男 1
- P-41S 中性子回折によるパーメンジュール合金の高温相

- 変態解析 (1 茨城大, 2 茨城大学院理, 3 茨城大フロンティア応用原子科学研究センター, 4 東北大マイクロシステム融合研究開発センター) ○佐藤李行 1, 河原幸汰 2, 富田俊郎 3, 星川晃範 3, 鈴木 茂 4, 佐藤成男 1
- P-42S 固溶型銅合金の応力緩和特性に作用する転位タイプの影響 (1 茨城大, 2 三菱マテリアル, 3 東北大) ○澤橋康太 1, 馬場可奈 1, 伊藤優樹 2, 松永裕隆 2, 松野下裕貴 2, 森 広行 2, 牧 一誠 2, 鈴木 茂 3, 佐藤成男 1
- P-43S 合成条件の異なる金属ドープ SiO₂ ガラスの粉末 X 線回折分析 (1 明大, 2 明大院, 3 リガク) ○福澤ちひろ 1, 白田ひびき 2, 笠利実希 3, 大淵敦司 3, 小池裕也 1
- P-44S 粉末 X 線回折分析による化粧用ファンデーションの結晶相分析 (1 明大, 2 明大院, 3 リガク) ○白田ひびき 1, 松田 渉 2, 大淵敦司 2, 小池裕也 1
- P-45S 粉末 X 線回折分析による多摩川底質中粘土鉱物の定性と定量 (1 明大, 2 明大院, 3 リガク) ○大貫雅浩 1, 白田ひびき 2, 笠利実希 3, 大淵敦司 3, 小池裕也 1
- P-46S 異なる条件下で成長させた食塩結晶への夾雑イオン取り込みの X 線分析 (東京都市大院) ○細井敬泰, 江場宏美
- P-47S 窒化鉄と炭酸水を用いるアンモニア生成過程における物質収支の確認 (東京都市大院) ○深美慶一, 江場宏美
- P-48S 鉄を用いる H₂ 生成/CO₂ 固定における反応前後の結晶相組織と反応性との関係 (東京都市大院) ○中澤礼香, 江場宏美

全体写真撮影 (15.00~15.10)

第 3 セッション・依頼講演 1 (15.10~16.50)

- O1-8S X 線分析を用いた非破壊分析による古代エジプトを中心としたガラス白濁技術の解明 (1 東京電機大, 2 岡山市立オリエント美術館, 3 東海大) ○工藤洋大 1, 阿部善也 1, 保倉明子 1, 四角隆二 2, 山花京子 3
- O1-9S 小田原城下欄干橋町遺跡出土天目片の非破壊オンサイト蛍光 X 線分析 (1 東工大院, 2 東京電機大, 3 東京電機大院, 4 明大, 5 大阪市立東洋陶磁美術館) ○楠 翔磨 1,2, 阿部善也 3, 村串まどか 2,4, 小林 仁 5
- O1-10S 蛍光 X 線分析によるヒト爪中微量元素定量法の開発 (1 東京電機大院, 2 東京電機大, 3 農研機構) ○山崎真友子 1, 保倉明子 2, 鈴木彌生子 3
- I-1 XRD を用いた新しい定量分析法—Direct Derivation 法—の原理と応用 (リガク) 虎谷秀徳

第 4 セッション 特別講演—浅田賞受賞講演 (16.50~17.30)

- S-1 微小部蛍光 X 線分析装置における X 線光学系の最適化と内部非破壊分析への応用 (堀場テクノサービス) 中野ひとみ

第 5 セッション (17.30~18.10)

- 早川慎二郎先生 追悼講演 村松康司, 宮村一夫
ミキサー (18.30~20.00, 於: 東京都市大学学生食堂)

第 2 日 (10 月 22 日)

第 6 セッション (9.00~10.20)

- O2-1 イオン注入法による半導体材料への機能付与 (阪公大) ○山本宗昭, 田辺哲朗, 吉田朋子

- O2-2 アルキルテトラセンのCK端 XANES 解析と sp²/sp³炭素の全電子収量比との関連 (兵庫県) 村松康司
 O2-3 CK 端 XANES によるシリコン含有ポリマー中の炭素不飽和結合の検出 (1 兵庫県, 2 広大院) ○村松康司 1, 豆崎実夢 1, 山田咲樹 1, 濱田隆暉 1, 下垣郁弥 1, 田中利幸 1, 早川慎二郎 2
 O2-4 テンダー X 線による水溶液表面における電子収量法の試み (原子力機構) 谷田 肇
 休憩 (10.20~10.30)
 第7セッション (10.30~11.30)
 O2-5 X 線発光スペクトルのプロファイルについて (リガク) 伊藤嘉昭
 O2-6 増強された環境帯電補償効果を利用した絶縁体の光電子分光 (1 兵庫県大高度研, 2 兵庫県大, 3 マツダ) ○鈴木 哲 1, 竹中研人 2, 高原光司 1, 江口智己 1, 住田弘祐 3
 O2-7 ベイズ超解像を用いた X 線光電子分光測定高速化プログラムの開発 (1 名大, 2 SSR) ○原田俊太 1,2, 辻森皓太 1,2, 木下慎一郎 2

昼休み (11.30~13.00)

第8セッション・依頼講演2 (13.00~14.40)

- O2-8 軟 X 線平面結像型不等間隔溝高回折効率多層膜球面回折格子の設計 (1 量研, 2 東北大多元研, 3 阪公大院, 4 島津製作所基盤研) ○小池雅人 1,2,3, 羽多野忠 2, ピロジコフ S. アレキサンダー 1, 上野良弘 4, 寺内正己 2
 O2-9 規則性多孔質ナノ構造をもつ X 線光学素子の FFXR イメージング法への応用 (京都市産技研) 山梨眞生
 O2-10 放射光 CT を用いた機械学習による実験室 CT の超解像 (東工大) 兒玉 学
 I-2 ミリ秒オーダー 4D X 線 CT の開発 (東北大国際放射光イノベーション・スマート研究センター) 矢代 航

休憩 (14.40~14.50)

第9セッション (14.50~16.30)

- O2-11 ジルコニア担持銅触媒の XRD/XAFS 分析およびエタノール転換反応活性 (2) 一担体焼成温度の影響— (徳島大) ○山本 孝, 刀根武大, 峰 広嵩
 O2-12 湿式化学分析と XAFS 法による Fe, Ce 共存ガラス中の Ce の平均価数評価法開発 (1 AGC, 2 東工大科学技術創成) ○小澤沙記 1, 西條佳孝 1, 宮嶋達也 1, 竹中敦義 1, 中瀬正彦 2
 O2-13 可搬型蛍光 X 線分析装置によるマイクロプラスチック中微量金属の定量 (1 麻布大, 2 麻布大院) ○中野和彦 1, 石山達也 1, 志村 瞬 2, 伊藤彰英 1
 O2-14 全反射蛍光 X 線分析装置によるアクチニドの蛍光 X 線・自発特性 X 線ハイブリッド計測 (1 量研, 2 東邦大, 3 阪公大) ○吉井裕 1,2, 柳澤右京 1,2, 松山嗣史 1,3, 酒井康弘 1,2
 O2-15 都市ごみ焼却飛灰中の放射性セシウム存在形態分析 (1 リガク, 2 明大) ○大淵敦司 1, 藤井健吾 2, 笠利実希 1, 小池裕也 2, 紺谷貴之

学生賞表彰式 (16.30~16.40)

閉会挨拶 (16.40)

会場隣接のエリアにて協賛企業 8 社様によるブース展示があります。

参加登録料 (非課税) 一般: 6,000 円 (会員*), 7,000 円 (非会員), 学生: 3,000 円 (* 協賛学会員を含む)

詳細については, 討論会 Web サイト

<https://xbun.jsac.jp/conference/no59.html> をご覧ください。
 連絡先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学理工学部応用化学科 江場宏美 [電話: 03-5707-0104 (代表), E-mail: xbun59@tcu.ac.jp]

第36回新潟地区部会研究発表会

—プログラム—

主催 (公社)日本分析化学会関東支部・同新潟地区部会
 期日 2023年11月2日(木)13時から
 会場 新潟大学駅南キャンパス ときめいと〔新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階, 電話: 025-248-8141〕

プログラム*

13.00~13.05

開会の辞 新潟地区部会長(新潟市水道局)高橋英司
 支部長挨拶 関東支部長(株コーセー研究所)安田純子

13.05~13.50

特別講演(座長(新潟市水道局)高橋英司)

研究開発における分析(株コーセー研究所)○安田純子

14.00~14.45

一般講演(座長(新潟大学)則末和宏)

講演1 コレステロール合成経路に対する *in vitro* および *in vivo* におけるエルゴステロールの新規抑制作用(新潟薬大)○桑原直子, 佐藤眞治, 中川沙織

講演2 4-*tert*-ブチルフェノールの分析法開発について(新潟県保環研)○猪浦 弾, 茨木 剛, 諸橋峻秀, 武 直子

講演3 阿賀野川上流域における有機フッ素化合物(PFAS)実態調査(新潟市水道局)○松原冬彦, 藤田充司, 田代 新, 高橋英司

15.00~16.30

ポスターセッション

16.45~17.30

一般講演(座長(新潟大学)狩野直樹)

講演4 外洋海水中溶存態 Te(IV)および Te(VI)の酸化還元化学種別定量分析法(新潟大院自然¹, 東大海研², 新潟大理³)○深澤 徹¹, 小畑元², 臼井 聡³, 松岡史郎³, 則末和宏³

講演5 生活環境試料中の有機フッ素化合物の分析事例(上越環境科学セ)○加藤貴信, 渡邊幸久

講演6 有機色素ナノ粒子膜からの光増感反応による大気中への一重項酸素放出(長岡技科大)○土田帯刀, 清野拓朗, 高橋由紀子

17.40~

表彰式

閉会挨拶 新潟地区部会長(新潟市水道局)高橋英司

* 口頭講演は対面と Zoom を用いたハイブリッド形式で実施予定です。Zoom による参加を希望される場合には, 下記まで直接お申込みください。Zoom の ID 等をお知らせいたします。

参加費 無料

懇親会 社会情勢を踏まえうえて判断・対応しますが, 現時点では発表会終了後に開催予定。一般 5,000 円, 学生 2,500 円(金額は目安で変更の可能性有。参加希望者は当日受付でお申し込みください)。

照会先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 新潟大学理学部 則末和宏 [電話: 025-262-6359, E-mail: knorisue@env.sc.niigata-u.ac.jp]

第28回高分子分析討論会 (高分子の分析及びキャラクタリゼーション)

—参加募集—

主催 (公社)日本分析化学会高分子分析研究懇談会
協賛 (公社)日本化学会, (公社)高分子学会ほか
高分子分析・特性解析全般に関する討論です。高分子分析は物性発現機構を解明し、構造設計の指針を得る基盤であり、その重要性への認識は高まっています。高分子分析・キャラクタリゼーションを対象とした本討論会の内容は、化学的手法、分光学的な手法、各種クロマトグラフ法、熱分析法などによる組成、分子構造、高次構造、構造と物性の相関、物性発現機構、重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発、解析実例などに及びます。

期日 2023年11月9日(木)・10日(金)

会場 つくば国際会議場〔茨城県つくば市竹園2-20-3〕

内容 一般参加者によるショートプレゼンおよびポスター発表に加えて、協賛企業によるテクニカルレビュー、および特別講演2件を予定しております。

討論会プログラム

第1日(11月9日)

開会挨拶(9:50~10:00)

ポスター講演I(10:00~11:05)

テクニカルレビューI(企業講演I 11:05~11:15)

ポスター発表I(11:20~12:45)

休憩

特別講演I(13:45~14:45)

「先端分析手法による環境プラスチックのキャラクタリゼーション」

(九州大学) 高原 淳先生

ポスター講演II(14:45~15:50)

テクニカルレビューII(企業講演II 15:50~16:00)

ポスター発表II(16:05~17:30)

懇親会、ポスター賞授与(17:50~19:50)

第2日(11月10日)

ポスター講演III(9:20~10:25)

ポスター発表III(10:30~11:55)

休憩

ポスター講演IV(12:50~13:55)

ポスター発表IV(14:00~15:25)

特別講演II(15:30~16:30)

「溶液NMRによる合成高分子のモレキュラーキャラクタリゼーション—平均値から分布の知見へ—」

(徳島大学) 右手浩一先生

ポスター賞授与、閉会挨拶(16:30~16:50)

参加費(税込)

予約登録(10月20日締切): 一般10,000円, 学生: 2,000円

直前登録(10月21日以降): 一般14,000円, 学生: 3,000円

参加登録方法 参加希望者は参加登録を高分子分析研究懇談会ホームページからお申し込みください。11月8日までに申し込み・参加費振込がない場合は参加できませんのでご注意ください。なお、入金された費用については参加の有無に関わらず返金できませんので、ご了承ください。

振込口座 りそな銀行五反田支店(普通)1330829, (公社)日本分析化学会高分子分析討論会

申込先 高分子分析研究懇談会ホームページ

<http://www.pacd.jp/>

問合先 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学理工学部応用化学科 本多貴之

〔電話: 044-934-7212〕

本学会ホームページ左側メニュー「本学会に関するお問い合わせ」より「高分子分析討論会」を選択してご質問をお送り

ください。

ポスター講演および発表I

I-01 イオン液体を用いた均一系反応によるセルロースエステルの合成と分子特性解析(工学院大)○川井忠智, 伊藤雄三

I-02 次世代型NMRシステムを活用した新規高分子解析手法の提案(高知大)○山田和彦

I-03 メチルセルロースヒドロゲルのゲル化過程及び水の状態に対するグリコール添加の影響(神奈川大理)○古垣将, 西本右子

I-04 機械学習を用いたGC-MSマスペクトル解析手法の検討(住ベリサーチ)○岡本隆志, 権藤 聡

I-05 乾性油を混合した漆塗膜への封管熱分解物回収法の適用(○明大院理工, 明大理工)○永野天大, 本多貴之

I-06 エステル系ポリウレタンの加水劣化状態のIRおよびLCMSによる検証(○コマツ, 名工大)○馬上 生, 秋元治人, 大谷 肇

I-07 F-スプリットレスPy-GC/MSによる微量マイクロプラスチック分析: 熱分解生成物の二次反応の抑制(○フロンティア・ラボ, 東北大, 名工大)○石村敬久, William Pipkin, 渡辺 壱, 寺前紀夫, 大谷 肇, 渡辺忠一

I-08 F-スプリットレスPy-GC/MSによる微量マイクロプラスチック分析: 室内空気を対象とした分析の基礎検討(○フロンティア・ラボ, 東北大, 名工大, 紀本電子工業)○佐藤真純, William Pipkin, 渡辺 壱, 寺前紀夫, 大谷 肇, 紀本岳志, 渡辺忠一

I-09 ポリスチレンおよびポリメタクリル酸メチルの詳細構造解析(DIC)○渡辺 岳, 戸田政明, 仲村仁浩

I-10 熱分解GC/MSによるLIB電解液に浸漬したポリプロピレン中添加剤の安定性分析(住友電気工業)○土子哲

I-11 MALDIプレートとDIUTHAME基板へのSEC自動分取システム構築(○京セラ, 浜松ホトニクス)○廣嶋孝治, 小谷政弘, 中西将太

I-12 転写プレートを用いた樹脂表面の高質量分解能イメージングの検討(○日本電子, 浜松ホトニクス)○渡邊直美, 佐藤貴弥, 池田貴将, 小谷政弘

I-13 スプリットレス熱分解GC/MSによる大気中の微量マイクロプラスチック分析における測定感度の向上について(○徳島大院理工, 徳島大薬, 名工大理工, 東北大, フロンティア・ラボ)○竹田大登, 木下京輔, 竹内政樹, 高柳俊夫, 大谷 肇, 寺前紀夫, William Pipkin, 松井和子, 渡辺 壱, 渡辺忠一, 水口仁志

I-14 イオンモビリティ四重極—飛行時間型質量分析計を用いた液晶ポリマーの配列解析(○名工大理工, ポリプラスチック)○堀 桃歌, 森本雄貴, 北川慎也, 大谷 肇, 川口邦明, 阿久津裕明

I-15 スペクトルデータベースを活用した合成高分子添加剤におけるスクリーニングワークフローの確立(日本ウォーターズ)○中村正太, 山田光一郎, 新堂幸子, 一木満貴子, 江崎達哉

I-16 高分子材料分析における高分解能質量分析計を活用した複合的解析~Py-GC/APGC, UPLC/ESI, DESIのトリブルイオン源の活用~(日本ウォーターズ)○倉橋隆実, 江崎達哉

I-17 近世の北海道に伝世する漆器の分析(○明大院理工, 明大理工)○正田勇人, 本多貴之

I-18 ラマンスペクトルにおけるPVAの結晶化度評価法に関する検討(積水化学工業)○新井祥人

I-19 PVPが水和する過程を測定した時間依存赤外スペクトルのデータ解析(○阪電通大院工, 阪電通大工)○菊田翔音, 森田成昭

- I-20 AI支援によるHPLC自動メソッド開発ソフトウェアを利用したGPEC分離条件の最適化(〇クロムソードジャパン, アジレント・テクノロジー) 〇青木祐子, 熊谷浩樹, 飯室龍之介, 野上知花, 其木茂則, 小西一豪
- I-21 ナノプラスチック分離・濃縮のためのAuマイクロメッシュを用いた誘電泳動デバイスの検討(〇名工大, 名工大院工) 〇定月友里, 海老名美歩, 飯國良規, 大谷肇
- I-22 二軸延伸ポリアミドフィルムの劣化メカニズムの解明(日本製鋼所) 〇塩崎文香, 宮川真里奈, 重松友子, 木村公一, 串崎義幸, 富山秀樹
- I-23 GCMSにおける精密質量プロダクトイオンスペクトルデータベースの検討(アジレント・テクノロジー) 〇加賀美智史, 小笠原亮, 穂坂明彦, 中村貞夫

ポスター講演および発表 II

- II-01 フッ素化スルホン酸アイオノマーの劣化解析への17O-NMRの適用可能性検討(FC-Cubic) 〇山口 真
- II-02 エステル結合特異的な分解を用いたアクリル系ポリマーの分析(〇日東分析センター, 徳島大院理工) 〇長尾竜平, 小池千尋, 伊藤 渉, 右手浩一
- II-03 二重結合を導入したカルダノール誘導体と環状シロキサンによるUV硬化型塗膜の開発(〇明大院理工, 明大院理工) 〇城市壮太, 本多貴之, 小川熱人
- II-04 マルチモーダルAI技術を用いた複数の分析データからの材料特性予測(産総研) 〇室賀 駿, 三木康彰, 畠賢治
- II-05 ポリウレタン構造解析のための亜臨界分解条件の検討(東ソー分析センター) 〇岸脇雅人
- II-06 機械学習により予測した電子イオン化法マスペクトルを用いたポリプロピレン製品中異物の構造解析(日本電子) 〇福留隆夫, 生方正章
- II-07 熱分解GC/MSとマイクロプラスチック解析ライブラリーを用いた多層フィルム状ポリマーの定性・定量分析(〇フロンティア・ラボ, 東北大, 名工大) 〇松井和子, 渡辺 壺, 寺前紀夫, 大谷 肇, 渡辺忠一
- II-08 ポリアミド樹脂の末端構造解析(DIC) 〇戸田政明, 小林美佐江, 仲村仁浩
- II-09 LC/MSを用いた高分子材料の品質管理におけるデータ解析法の検討(アジレント・テクノロジー) 〇野上知花, 飯室龍之介, 澤田浩和
- II-10 残差KMDプロットと高分解能質量分析を組み合わせたノンターゲット分析手法の検討(産総研機能化学) 〇中村清香, 大石晃広, 萩原英昭, 新澤英之, 佐藤浩昭
- II-11 シングル四重極質量分析計による高分子材料の簡易スクリーニング分析(島津製作所) 〇服部考成, 柴山泰子, 猪鼻祐介, 朝野夏世
- II-12 スーパーエンジニアリングプラスチックの空気雰囲気下での熱脱着GC/MS分析(〇フロンティア・ラボ, 東北大, 名工大) 〇シヨケイティ パイルザ, 松枝真依, 渡辺 壺, 寺前紀夫, 大谷 肇, 熊谷将吾, 渡辺忠一
- II-13 質量分析によって蓄積されたビッグデータを分析する残差KMD/RIプロット(産総研) 〇新澤英之, 中村清香, 花岡寿明, 辻 有子, 大石晃広, 萩原英昭, 青柳将, 佐藤浩昭
- II-14 複数の化学分析データに対する機械学習によるリサイクル樹脂の判別(産総研) 〇藤本真司, 花岡寿明, 中村清香, 萩原英昭, 伊藤祥太郎, 青柳 将, 佐藤浩昭, 新澤英之
- II-15 イオンモビリティスペクトロメトリー質量分析法を用いたウレタン樹脂骨格中のポリオール成分の分析(DIC) 〇植野上博之, 今榮康文, 草野大輔
- II-16 異種合成高分子混合物のMALDI-TOF質量スペクトルのデアイソトープについての検討(ブルカージャバ

ン) 〇工藤寿治

- II-17 熱分解-GC-MSを使用した食品包装フィルムの差異解析(島津製作所) 〇川北祥人, 石井寿成
- II-18 ラマン分光法によるエポキシ接着剤/金属界面の残留応力評価(豊田中研) 〇安孫子勝寿, 加藤雄一, 北條浩, 岸田佳大, 須藤栄一, 光岡拓哉
- II-19 熱および光反応におけるポリ塩化ビニルの構造変化についての研究(〇日大院工, 日大院工) 〇渡部菜月, 良田稜, 市川 司, 根本修克, 沼田 靖
- II-20 グラジエントポリマー溶出クロマトグラフィー(GPEC)の溶出における分子量依存性について(東ソー分析センター) 〇香川信之, 岸脇雅人
- II-21 クロマト分析手法を駆使したPPコンパウンドの組成分布解析(三井化学分析センター) 〇高橋順子, 山本寿美江, 山之上巧
- II-22 海洋生分解試験を行ったポリエステルフィルム表面近傍の自由体積サイズ解析(〇産総研, 都産技研) 〇萩原英昭, 金山直樹, 田中真美, 森久保諒, 佐野 森
- II-23 熱分解-GC/MSを用いたUV硬化材料の品質管理におけるデータ解析法の検討(アジレント・テクノロジー) 〇穂坂明彦, 加賀美智史, 橋北直人, 中村貞夫
- II-24 サブミクロン空間分解能赤外分析法(O-PTIR)を用いた生分解性プラスチックの微小構造解析(日本サーマル・コンサルティング) 〇小林華栄

ポスター講演および発表 III

- III-01 標準ポリマー混合サンプルのDOSY測定(2)(〇徳島大院理工, 高分子DOSYコンソーシアム) 〇坂口悠人, 徳田規紘, 渡邊 颯, 右手浩一, 高分子DOSYコンソーシアム会員
- III-02 ホットメルト系接着剤とアルミニウム界面の接着力に影響する化学状態の評価(豊田中研) 〇北住幸介, 岩井美奈, 光岡拓哉, 安孫子勝寿
- III-03 PACの合成と塗膜物性評価(〇明大院理工, 明大院理工) 〇谷 凜太, 本多貴之
- III-04 樹脂の水平リサイクルに向けた迅速・網羅的な添加剤定性法の開発(産総研機能化学) 〇花岡寿明, 藤本真司, 辻 有子, 渡邊宏臣, 青柳 将, 佐藤浩昭
- III-05 GC/NICI-MSによるPVC熱分解油中ハロゲン化合物の分析(〇アジレント・テクノロジー, 東北大院環境科学) 〇中村貞夫, 〇加賀美智史, 風間春奈, 安達若菜, 熊谷将吾, 齋藤優子, 吉岡敏明, 橋北直人
- III-06 多数のケンドリックマスティフェクトプロットから特徴パターンを抽出するインフォーマティクス技術(〇日本電子, 産総研機能化学) 〇佐藤貴彰, 渡邊直美, 新澤英之, 中村清香, 大石晃広, 萩原英昭, 佐藤浩昭
- III-07 F-スプリットレス熱分解GC/MSによるアクリル共重合体の微量分析(〇フロンティア・ラボ, 東レリサーチセンター, 東北大, 名工大) 〇塩野 愛, 田口嘉彦, 渡辺 壺, 寺前紀夫, 大谷 肇, 渡辺忠一
- III-08 SEC-熱分解GC/MSを用いたスチレン-メタクリル酸メチル共重合体の構造解析(東ソー分析センター) 〇生田久美子, 森本雄貴, 松本良憲, 香川信之
- III-09 ポリエステル中の微量アクリル樹脂定量分析(東洋紡) 〇齊藤純希
- III-10 ポリカーボネート樹脂の熱/水分劣化診断に向けたMALDI-TOFMS, 熱分解GC-MSの適用性検討(〇広島県総研, 産総研機能化学) 〇小島洋治, 菅坂義和, 宗網洋人, 花岡寿明, 伊藤祥太郎, 青柳 将
- III-11 TG-MS & trap GC-MSシステムの開発(NETZSCH Japan) 〇佐藤健太
- III-12 窒素をキャリアーガスとした熱分解GC/MSの基礎検討(〇フロンティア・ラボ, 東北大, 名工大) 〇渡辺壺, 松枝真依, シヨケイティ パイルザ, 押野博二, 寺前

- 紀夫, 大谷 肇, 渡辺忠一
- III-13 GC-MSおよびGC-FIDとRI-plot法を用いた炭化水素系高分子材料の構造解析 (○住友ゴム工業, 名工大院工, 産総研機能化学) ○海野祐馬, 北浦健大, 山田宏明, 北川慎也, 大谷 肇, 中村清香, 渡邊亮太, 佐藤浩昭
- III-14 高分解能GC-TOFMSを用いたマイクロ・ナノプラスチックの包括的解析 (○LECO ジャパン, LECO Corporation, LECO Europe, Imperial Collage London) ○樺島文恵, 櫻井昌文, David E. Alonso, Nick Jones, Stephanie Wright, Joseph Levermore
- III-15 エレクトロスプレーイオン化-イオンモビリティスペクトロメトリー-質量分析法 (ESI-IMS-MS)を用いた陶磁器加飾に用いられる貴金属レジネートの構造解析 (名工大院工, ノリタケカンパニーリミテド) ○前野吉秀, 尾上武生, 北川慎也, 大谷 肇, 菊川結希子
- III-16 シランカップリング剤反応解析の多角的な検討 (○住友ゴム工業, 産総研機能化学) ○吉谷美緒, 海野祐馬, 堀江美記, 北浦健大, 山田宏明, 岸本浩通, 中村清香, 渡邊亮太, 佐藤浩昭
- III-17 二酸化炭素を用いたカシューナッツシェルリキッド (CNLS) 由来ポリウレタン樹脂塗料の開発 (○明大院理工, 明大理工) ○土佐恵美里, 本多貴之
- III-18 レオ・オブティカル赤外分光イメージングによるガラス繊維強化ポリプロピレンの機能発現メカニズムの解明 (○産総研機能化学) ○渡邊亮太, 菅原明希, 萩原英昭, 新澤英之
- III-19 温度変化させたPET樹脂のFTIRスペクトルの検討 (アジレント・テクノロジー) ○芹野 武, 金岡 智
- III-20 FFF-MALSを用いた天然ゴムのキャラクタライゼーション (○住友ゴム工業, 山形大工, 山形大院有機材料システム) ○坂口祐美, 菊地守也, 川口正剛
- III-21 オンラインカラム選択的高分子濃縮によるLC分析法の検討とNQAD検出器の測定事例 (神東塗料) ○土田好進, 美野成昭, 倉島和泉
- III-22 ポリ乳酸フィルムの酵素分解速度と自由体積サイズの相関解明 (産総研) ○都甲 梓, 萩原英昭
- III-23 紫外線促進耐候性試験による太陽電池モジュール封止材の劣化解析 (○東北大院環境, 秋田県産業技術センター) ○柳澤 匠, 熊谷将吾, 伊勢和幸, 高山健太郎, 齋藤優子, 白鳥寿一, 吉岡敏明
- III-24 ピンポイント瞬間熱脱離-質量分析法を用いた多種プラスチックのハイスループット同時分析 (バイオクロマト) ○山下 藍, 島田治男, 志田保夫, 木下一真
- ポスター講演および発表 IV**
- IV-01 DOSY-最大エントロピー法によるEPDMのキャラクタライゼーション-高感度測定とノイズリダクションの併用 (○徳島大院理工, 積水化学, 京大化研) ○徳田規紘, 日下康成, 梶 弘典, 長谷川健, 平野朋広, 右手浩一
- IV-02 LA-ICP-MSを用いた塗膜異常部の分析 (関西ペイント) ○千野芳明, 田中淳一, 谷口由香里
- IV-03 海洋生分解が進行した共重合ポリエステルフィルム残渣の化学構造解析 (○産総研, 都産技研) ○金山直樹, 佐野 森, 中村清香, 田中真美, 森久保諭, 佐藤浩昭, 萩原英昭
- IV-04 超臨界メタノール分解法を用いたポリイミドのモノマー配列解析 (日産化学) ○大橋竜也, 豊田美希, 高山浩, 近間克己
- IV-05 転写プレートが実現する簡便な質量分析イメージング: 材料分析にどう応用できるか (浜松ホトニクス) ○池田貴将, 小谷政弘
- IV-06 高分解能MALDI-TOFMSと核磁気共鳴分光法を用いたEO-PO共重合ポリマーの構造評価 (日本電子) ○佐藤貴弥, 渡邊直美, 阿部仁美, 小木曾直人
- IV-07 熱分解GC/TOFMSと構造解析ソフトウェアを用いた多成分系アクリル酸エステル共重合体の多量体熱分解生成物の解析 (○フロンティア・ラボ, JEOL, M&Wリサーチ, 東北大, 名工大) ○松枝真依, 福留隆夫, 生方正章, 浅井 聡, 渡辺 彦, 寺前紀夫, 大谷 肇, 渡辺忠一
- IV-08 MALDI-TOF MSにおける転写プレートの活用事例 (○三菱ケミカル, 浜松ホトニクス) ○升本明日香, 池田貴将
- IV-09 多元系共重合ポリマー質量分析データの自動データ分離法 (旭化成) ○松浦さつき, 吉川千明
- IV-10 転写プレートを用いた樹脂中添加剂のMSイメージング (○京セラ, 浜松ホトニクス) ○金田恭介, 池田貴将, 小谷政弘
- IV-11 幅広い分子量の熱分解生成物を総合的に解析するための測定システムの開発 (名工大院工) ○山本広大, 伊藤宏, 大谷 肇, 北川慎也
- IV-12 熱分解GC/MS/MSによるマイクロプラスチック分析 (日本電子) ○橋本将宏, 小野寺潤, 生方正章
- IV-13 ポリイソプレンのLC-MSによる分析手法の開発 (名工大院工) ○森 匠汰, 北川慎也, 大谷 肇
- IV-14 熱脱着・熱分解GC-TOFMS法によるバージン材とリサイクル材製品の詳細比較 (LECO Japan) ○樺島文恵, 櫻井昌文, Reygel Estrella
- IV-15 GC-MS向け新規オプションユニットの試作開発~規制物質等の迅速スクリーニングへの適応~ (○神戸工業試験場, 横浜国大院環境情報, 産総研) ○三島有二, 藤井麻樹子, 津越敬寿
- IV-16 江戸時代末期の玩具に用いられた漆塗膜の分析 (明大院理工, 明大理工) ○越智悠太, 本多貴之
- IV-17 UPLC x IMSによる超高速高分離による構造解析の効率化 (日本ウォーターズ) ○江崎達哉, 佐藤 太
- IV-18 含水高分子に尿素を添加したときの水和構造変化について (○阪電通大院工, 阪電通大工) ○真木豊治, 森田成昭
- IV-19 漆塗膜の高分子鎖に含まれる種々の官能基の分析 (明大院理工, 明大理工) ○濃野 開, 本多貴之
- IV-20 GPEC 溶出挙動に与える固定相の極性の影響 (○アジレント・テクノロジー) ○熊谷浩樹, 野上知花, 飯室龍之介, 澤田浩和
- IV-21 セルロース系ポリマーの劣化解析2-紫外線照射の影響- (神奈川大理, 神奈川大総研) 高橋ひよの, 山田絵里加, 大石不二夫, ○西本右子
- IV-22 GPC及び化学修飾ESCAによる液晶ポリマーの劣化解析 (東ソー分析センター) ○中西健太, 津川直矢, 丹羽 浩
- IV-23 発生ガス分析法を主軸とした線状高分子の熱酸化劣化解析 (○名大院工, 産総研機能化学) ○石田崇人, 渡邊亮太, 中村清香, 萩原英昭, 土肥侑也, 畝山多加志, 増渕雄一
- IV-24 Py-GC/MSから算出された共重合比の妥当性評価 (デンカ) ○安達葉菜, 亀田博之

本プログラムは今現在の予定であり、最終的に変更が生じる場合もあります。

2023年度日本分析化学会 九州支部講演会・支部見学会

主催 (公社)日本分析化学会九州支部
期日 2023年11月10日(金)15時~17時(予定)
会場 講演会会場:住友化学(株)大分工場内講堂

〔大分県大分市鶴崎 2200〕

見学会会場：(株)住化分析センター大分ラボラトリー

〔大分県大分市鶴崎 2200〕

講演会 (15時00分～16時00分を予定)

1. 「2D-LC/MS を用いた核酸医薬品の分析」

(株)住化分析センター大阪ラボラトリー

赤嶺隆太 氏

2. 「大分県内の温泉分析」

(公社)大分県薬剤師会検査センター 食品環境課

甲斐美穂 氏

見学会 (講演会終了後～17時00分を予定)

(株)住化分析センター大分ラボラトリー内見学 (見学会に関して、同業他社の方のご参加はお断りすることがあります。ご了承ください。)

会費 無料

参加申込締切 10月27日(金)

問合先 〒870-1192 大分県大分市大字且野原 700 大分大学

理工学部理工学科 江藤真由美 (九州支部庶務幹事)

〔電話：097-554-7911, E-mail: jsac_kyushu@jsac.jp (2023

年度執行部宛にメールをお送りください)〕

2023年北海道地区化学教育研究協議会

主催 日本分析化学会北海道支部, 日本化学会北海道支部, 日本化学会教育・普及部門

後援 北海道教育委員会, 札幌市教育委員会, 北海道高等学校長協会, 北海道小学校理科研究会, 北海道中学校理科教育研究会, 北海道高等学校理科研究会, 北海道教育大学

期日 2023年11月11日(土) 10時～16時30分

会場 北海道教育大学札幌駅前サテライト〔札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 4階〕での対面形式及びZoomを用いた遠隔による実施(ウェビナー)のハイブリッド開催

参加申込締切 10月27日(金)

定員 80名

内容

特別講演 人工光合成～その基本と研究の歴史そして実用化に向けた最新動向～

(京都大学大学院工学研究科教授) 阿部 竜氏

提 言: 「理科(化学)教育における小・中・高・大学での取り組み」を4件ほど予定(提言20分, 質疑応答5分程度)

自由討論: 「小・中・高・大学での研究実践と課題に関する討論」(1時間程度)

対象 小学校から大学までの教員, 化学教育に関心のある大学(院)生

参加費 無料

懇親会費(希望者) 3,500円(五修堂〔札幌市中央区南1条東2丁目〕)

参加申込方法 電子メールかGoogleフォームで申し込みください。名簿作成の関係で10月27日(金)締切としますが、協議会につきましては「当日参加」も可能です。

Google フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfNv_c1ZEZMNZMaFPJPOOVjcNF7v_WpOJhOvIjwqIZG6330Dg/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0

連絡先 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究院材料科学部門 坂入正敏

〔電話：011-706-7111, E-mail: msakairi@eng.hokudai.ac.jp〕

第389回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本薬学会, (公社)日本化学会, (公社)日本農芸化学会, (公社)日本分析化学会

近年の質量分析形の高感度化・高分解能化に伴い、生体内タンパク質の網羅的解析(プロテオミクス)もより深度のある解析が可能となりつつある。しかし、実試料前処理及び測定における再現性、検出感度、データ解析のスループット化等、解決すべき課題はまだ多い。本例会では、「プロテオミクス」にフォーカスを当て、マスマス解析の基礎から、実試料測定への応用について、ご講義いただきます。

期日 2023年11月21日(火) 13:00～17:25

会場 (株)島津製作所殿町事業所/Shimadzu Tokyo Innovation Plaza〔神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-40, 交通:京急大師線「小島新田」駅徒歩12分, 京浜急行電鉄・東京モノレール「天空橋」駅よりバス/タクシー10分, JR「川崎」駅よりバス/タクシー約20分

<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tonomachi.html>

講演主題 プロテオミクスの基礎と応用

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13:00～13:10)

(第一三共(株)) 合田竜弥

(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

1. 「プロテオミクスの基礎—タンパクやペプチドのマスマス解析の基礎を中心に—」(13:10～13:45)

(エムエス・ソリューションズ(株)) 高橋 豊

(LC分析士二段, LC/MS分析士五段)

2. 「プロテオミクスの基礎と最新アプリケーションの御紹介」(13:45～14:20)

(サーモフィッシュャーサイエンティフィック(株)) 永島良樹

(LC/MS分析士初段)

3. 「イオンモビリティ技術を活用したプロテオミクス解析」(14:20～14:55)

(ブルカージャパン(株)) 桑田啓子

(LC/MS分析士初段)

4. 「トリプル四重極質量分析装置を用いた中心代謝酵素のターゲットプロテオミクス」(14:55～15:30)

(株)島津製作所) 渡邊 淳

(LC分析士初段)

休憩(15:30～15:50)

5. 「ナノ液体クロマトグラフィー質量分析法によるプロテオーム解析」(15:50～16:25)

(味の素(株)) 中山 聡

(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

6. 「PAC-LC/MSを用いたプロテオミクスへの挑戦」

(16:25～16:50)

(第一三共(株)) 合田竜弥

(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)

7. 総括「プロテオミクスの基礎と応用」(16:50～17:25)

(東京理科大学) 中村 洋

(LCマイスター, LC/MSマイスター)

参加費 LC研究懇談会・個人会員:1,000円, LC研究懇談会・団体会員及び後援学会・会員:3,000円, その他:4,000円, 学生:1,000円。参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(会費4,000円)。参加申込締切後のご参加はできませんので、ご了承ください。

申込締切日 11月14日(火)(入金締切時刻:15時まで)

申込方法

- 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先（電話番号）、LC 会員：協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、お申込みください。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記してください。
- お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第 389 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、世話人までお問い合わせください。
- 申込受付メールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行ってください。期限内に参加費納入が確認できない場合、参加申込みを無効としますので、十分ご注意ください。なお、一旦納入された参加費は、返金いたしません。
- 参加費の納入が確認できた方には、2023 年 11 月 15 日以降に要旨集をメールにてお送りいたします。必要に応じてプリントアウトしてご参加ください。なお、請求書と領収書の発行はいたしておりません。領収書は、振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます。

液体クロマトグラフィー研究懇談会（例会）参加費送金時のご注意
 例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

- 複数例会の参加費の同時振込
 (→例会ごとに振り込んでください)
- 複数参加者の参加費の同時振込
 (→参加者ごとに振り込んでください)
- 年会費や他の費用との合算振込
 (→費目ごとに振り込んでください)

申込先 <https://forms.gle/xYFzdQ7r4iDR2iF1A>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店（普通）1754341、口座名義：シヤ ニホンブンセキカガクカイ〔公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会〕

問合先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 第一三共(株) 合田竜弥
 [E-mail : goda.ryoya.u4@daiichisankyo.co.jp]

第 16 回千葉県分析化学交流会 (参加募集)

主催 千葉県分析化学交流会
 後援 (公社)日本分析化学会関東支部、(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会、(公社)日本分析化学会分析士会

協賛 東邦大学理学部、東邦大学薬学部

期日 2023 年 11 月 25 日（土）

会場 東邦大学薬学部 D 館 101, 102 教室〔交通：京成電鉄「京成大久保」駅から徒歩 10 分または JR「津田沼」駅からバス 10 分〕

プログラム

12.30～受付開始

第 1 部 学術講演会 (13.00～15.40)

13.00～13.10 開会挨拶

(元日本分析化学会会長、千葉県分析化学交流会会長)

中村 洋

13.10～13.15 歓迎挨拶

(東邦大学理学部長)

古田寿昭

13.15～13.45 講演 1 (支部長講演)

化粧品を取り巻く規制と分析

(日本分析化学会関東支部長、(株)コーセー)

安田純子

13.45～14.35 講演 2 (瑞宝中綬章受章記念講演)

教育研究 40 年の思い出

(日本分析化学会名誉会員、千葉大学名誉教授)

小熊幸一

14.35～14.45 休憩

14.45～15.10 講演 3 (若手講演)

干潟環境における多環芳香族炭化水素の起源と挙動

(東邦大学大学院理学研究科 博士後期課程)

大坂雄一郎

15.10～15.40 講演 4

がんのその場検査実現をめざした表面機能化自律駆動マイクロチップの開発

(順天堂大学医学部 准教授)

石原 量

15.40～15.50 記念撮影

15.50～16.20 学内施設見学

第 2 部 情報交換会 (16.30～18.30)

東邦大学習志野キャンパス内食堂 (PAL) 2F

参加費 第 1 部：1,000 円 (学生無料)、第 2 部：4,500 円 (当日受付にてお支払いください)

申込方法 以下のアドレス (Google Form) よりお申し込みください。

<https://forms.gle/eSbve4jBU5cnefMM9>

または、下記に電子メールにて直接お申し込みください。

千葉県分析化学交流会会長 中村 洋

[E-mail : nakamura@jsac.or.jp]

(①第 1 部、第 2 部いずれに参加するか、②氏名、③所属、

④連絡先情報 (メールアドレスなど) を明記してください)

第 28 回液体クロマトグラフィー研究懇談会 特別講演会・見学会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

後援 (公社)日本化学会、(公社)日本薬学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会、LC シニアクラブ

期日 2023 年 11 月 29 日 (水)

会場 (株)東レリサーチセンター (TRC) 1 号館〔滋賀県大津市園山 3-2-11 (滋賀事業場 研究西地区)、交通：JR 琵琶湖線「石山」駅で下車、北口より徒歩約 25 分、タクシーで約 7 分〕

<https://www.toray-research.co.jp/aboutus/locations/#kenkyuShiga>

スケジュール

13.00～13.30 受付

司会 現地世話人

(TRC 取締役、営業副部門長) 竹澤正明

13.30～13.35 LC 研究懇談会・委員長挨拶

(東京理科大学) 中村 洋

13.35～14.05 TRC 及び本施設の概要説明

(TRC 取締役、研究部門長) 大塚祐二

14.10～15.30 見学会

15.30～15.40 記念撮影

15.40～16.10

講演 1 有機構造解析で用いられる分離・分析技術

(TRC 有機分析化学研究部、主任研究員) 小野田資

16.10～16.40

講演 2 ライフサイエンス分野におけるイメージング技術

(TRC 表面科学研究部、主任研究員) 松田和夫

17.30~19.30 情報交換会(社外)

19.30 解散

参加費 5,000円(税込み10%)当日お支払いください。

申込方法 参加希望者は、氏名、勤務先(電話番号)、LC研究懇談会会員/会員外の区別を明記のうえ、E-mailにより下記申込先にお申し込みください。なお、同業他社からの参加者はお受けできませんので、ご了承ください。

申込期限 2023年11月22日(水)17時

定員 20名(定員になり次第、締め切らせていただきます)。

申込先 (公社)日本分析化学会 LC研究懇談会

[E-mail: nakamura@jsac.or.jp]

LC- & LC/MS-DAYS 2023 ~人財育成~

参加者募集

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

後援 (公社)日本化学会、(公社)日本農芸化学会、(公社)日本分析化学会、LCシニアクラブ

高速液体クロマトグラフィー(HPLC)及び高速液体クロマトグラフィー質量分析(LC/MS)は汎用分離分析法として分野を問わず活用され、新しいユーザーが絶え間なく誕生しています。HPLC及びLC/MSの初心者・中級者にとっては一日も早く関連技術を習得することが求められていますが、現場ではさまざまなトラブルに遭遇し、その解決に苦勞することも稀ではありません。一方、分析値信頼性確保への社会的な高まりに応えるため、(公社)日本分析化学会は分析士資格認証制度を2010年度から創設して液体クロマトグラフィー(LC)分析士試験を実施し、2011年度からLC/MS分析士試験、2012年度からイオンクロマトグラフィー(IC)分析士試験をそれぞれ継続して実施しています。現在までに分析士として登録された方は、3,000名に達しています。

そこで、LC研究懇談会ではHPLC、LC/MS並びに関連技術に関する専門家の養成を目指し、基礎知識の習得と情報交換を行うため、「人財育成」を2023年のメインテーマに掲げました。この研修会では、技術者・研究者・メーカー・ユーザーが一体となり、基礎から最前線までを泊り込みで勉強します。また、オーバーナイトセッションでは分離科学的な専門知識に加え、人と人の絆を改めて考えるきっかけとして、ヒューマンネットワークの構築についても学ぶ機会を設けますので、奮ってご参加ください。なお、本研修会終了後の、①2023年度LC分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験、②2023年度LC/MS分析士初段認証試験の筆記試験を免除する試験(①②は同時刻実施、無料)に合格されますと、当該分析士初段認証試験の筆記試験が免除される特典があります(初段登録時には正規の受験料と登録料が必要です)。

会期 2023年11月30日(木)・12月1日(金)

会場 琵琶レイクオーツカ〔滋賀県大津市南小松1054-3、電話:077-596-1711(代)、FAX:077-596-1702、交通:「京都」駅からJR湖西線新快速電車で30分(普通列車では約45分)、「近江舞子」駅下車徒歩5分〕

<https://www.biwalake-otsuka.com/>

プログラム

12.30~13.00 受付

1日目(11月30日)

13.00~13.05 実行委員長・開会挨拶

(東京理科大学)中村 洋

13.05~13.15 現地世話人挨拶・施設説明

(東レリサーチセンター)竹澤正明

基調講演

13.15~13.45 (座長:大塚克弘)

S0-1 人財育成の本質~高度な専門性と魅力ある人柄の醸成 (東京理科大学)中村 洋

第1部 専門家の分離技術(主任:西岡亮太)

13.45~14.00 (座長:中村 洋)

S1-2 総論 (住化分析センター)西岡亮太

14.00~14.15 (座長:西岡亮太)

S1-3 逆相クロマトグラフィー (CERI)坂牧 寛

14.15~14.30 (座長:坂牧 寛)

S1-4 HILIC (クロマニックテクノロジーズ)長江徳和

14.30~14.45 (座長:長江徳和)

S1-5 イオン交換クロマトグラフィー

(日立ハイテクサイエンス)清水克敏

14.45~15.00 (座長:清水克敏)

S1-6 マルチモードクロマトグラフィー

(Restek)海老原卓也

15.00~15.15 コーヒーブレイク

15.15~15.30 (座長:海老原卓也)

S1-7 イオンクロマトグラフィー

(東京理科大学)中村 洋

15.30~15.45 (座長:中村 洋)

S1-8 超臨界流体クロマトグラフィー

(日本分光)寺田明孝

15.45~16.00 (座長:寺田明孝)

S1-9 サイズ排除クロマトグラフィー

(東ソー)伊藤誠治

16.00~16.15 (座長:伊藤誠治)

S1-10 キラルクロマトグラフィー

(住化分析センター)西岡亮太

16.15~16.30 (座長:西岡亮太)

S1-11 館内施設説明&部屋割り

(東レリサーチセンター)竹澤正明

16.45 チェックイン・入浴

17.40~18.00 景品仕分け(海老原卓也、坂本和則)

18.00~20.00 夕食・情報交換会

・司会(榎本幹司)

・じゃんけん大会(高橋 豊)

20.15~20.30 会場セットアップ(清水克敏、寺田明孝)

20.30 オーバーナイトセッション

(4グループに分かれて朝まで?討論)

①前処理&生体試料、②分離&カラム、③検出&LC/MS、④ヒューマンネットワーク

2日目(12月1日)

7.00~8.00 朝食

第2部 専門家の前処理技術(主任:岡橋美貴子)

8.00~8.15 (座長:竹澤正明)

S2-12 総論(臨床検査基準測定機構)岡橋美貴子

8.15~8.30 (座長:岡橋美貴子)

S2-13 水 (メルク)石井直恵

8.30~8.45 (座長:石井直恵)

S2-14 試薬・溶媒 (関東化学)坂本和則

8.45~9.00 (座長:坂本和則)

S2-15 溶媒抽出(臨床検査基準測定機構)岡橋美貴子

9.00~9.15 (座長:岡橋美貴子)

S2-16 固相抽出 (東ソー)伊藤誠治

9.15~9.30 (座長:伊藤誠治)

S2-17 除タンパク (第一三共)合田竜弥

9.30~9.45 (座長:合田竜弥)

S2-18 超臨界流体抽出 (日本分光)寺田明孝

9.45~10.00 (座長:寺田明孝)

S2-19 カラムスイッチング
(ハウス食品グループ本社) 神山和夫
10.00~10.15 コーヒーブレイク

第3部 専門家の検出技術 (主任:三上博久)

10.15~10.30 (座長:神山和夫)
S3-20 総論 (島津総合サービス) 三上博久
10.30~10.45 (座長:神山和夫)
S3-21 示差屈折率検出 (島津総合サービス) 三上博久
10.45~11.00 (座長:三上博久)
S3-22 吸光度検出 大塚克弘
11.00~11.15 (座長:大塚克弘)
S3-23 蛍光検出 三上博久
11.15~11.30 (座長:三上博久)
S3-24 電気伝導度検出 (産総研) 川口 研
11.30~11.45 (座長:川口 研)
S3-25 蒸発光散乱検出 (島津総合サービス) 三上博久
11.45~12.00 (座長:三上博久)
S3-26 ICP 検出 (フジクラ) 市川進矢
12.00~13.00 昼食・記念撮影

第4部 専門家のLC/MS (主任:高橋 豊)

13.00~13.15 (座長:市川進矢)
S4-27 総論
(プレッパーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊
13.15~13.30 (座長:市川進矢)
S4-28 ESI
(プレッパーズ/エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊
13.30~13.45 (座長:高橋 豊)
S4-29 APCI (日本食品検査) 橋田 規
13.45~14.00 (座長:高橋 豊)
S4-30 QMS (日本食品検査) 橋田 規
14.00~14.15 (座長:橋田 規)
S4-31 TOF-MS (日本電子) 山本敏人
14.15~14.30 (座長:山本敏人)
S4-32 MS/MS (東レリサーチセンター) 竹澤正明
14.30~14.45 コーヒーブレイク

第5部 専門家の実験分析技術 (主任:竹澤正明)

14.45~15.00 (座長:竹澤正明)
S5-33 生体成分分析 (第一三共) 合田竜弥
15.00~15.15 (座長:合田竜弥)
S5-34 環境分析 (栗田工業) 榎本幹司
15.15~15.30 (座長:榎本幹司)
S5-35 食品分析 (ハウス食品グループ本社) 神山和夫
15.30~15.45 (座長:神山和夫)
S5-36 医薬品分析 (第一三共) 合田竜弥
15.45~16.00 (座長:合田竜弥)
S5-37 化粧品分析 (花王) 奥田愛未
16.00~16.15 (座長:奥田愛未)
S5-38 高分子分析 (三菱ケミカル) 前中佑太

第6部 専門家の関連知識

16.15~16.30 (座長:前中佑太)
S6-39 法令遵守 (CERI) 坂牧 寛
16.30~16.45 (座長:坂牧 寛)
S6-40 統計処理 (ムラタ計測器サービス) 大塚克弘
17.00~17.30 (認証専門委員:中村 洋, 三上博久)
修了試験 4 択式で10問. マークシートに解答. 無料.
① 2023年度 LC 分析士初段認証試験筆記試験免除試験
② 2023年度 LC/MS 分析士初段認証試験筆記試験免除試験

参加費 30,000円 (税込み10%)

定員 50名

参加申込方法 ①参加者氏名, ②連絡先 (メールアドレス, 所属, 住所, 電話番号, E-mail, ③オーバーナイトセッションで討論したい (聴いてみたい) テーマ, ④上記修了試験受験希望の有無 (希望者は LC か LC/MS かの区分を記載. 受験予定者は 2B 以上の黒鉛筆と消しゴムを持参) を明記し, 下記参加申込先 URL にお申し込みください.

参加申込先

<https://forms.gle/Lj5wbwMi8CjmAwwu5>

参加申込締切 10月30日 (月) 入金締切時刻 15時

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 研修会実行委員長 中村 洋 [E-mail: nakamura@jsac.or.jp]. なお, 開催日が近付きましたら, LC 研究懇談会のホームページ (<http://www.lckon.html>) をご覧ください.

第2回 LC シニアクラブ参加者募集

主催 LC シニアクラブ

協賛 LC 研究懇談会

LC シニアクラブ (LCSCCL) は, (公社)日本分析化学会・LC 研究懇談会のシニア役員を中核とし, LC や LC/MS をはじめ, さまざまな技術や手法の開発・改良, 技術を継承する人材の発掘・育成・組織化などのストラテジーを自由な発想に基づいて俯瞰的な立場から提案するための頭脳集団です. 今回は, LC 研究懇談会が主催する LC- & LC/MS-DAYS 2023 にリンクし, その終了直後から同じホテルで第2回会合を開きます. 参加資格は特にはありませんので, ご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください.

日時 第1部 2023年12月1日 (金) 18時 (情報交換会)

第2部~第4部 12月2日 (土) 10時~13時

会場 琵琶レイクオーツカ [滋賀県大津市南小松 1054-3, 電話: 077-596-1711 (代), FAX: 077-596-1702, 交通: 「京都」駅から JR 湖西線新快速電車で 30 分 (普通列車では約 45 分), 「近江舞子」駅下車徒歩 5 分]

<https://www.biwalake-otsuka.com/>

プログラム

進行: 現地世話人 (東レリサーチセンター取締役) 竹澤正明

第1部 情報交換会 (12月1日 18.00~20.00)

1) 挨拶: LC シニアクラブ会長

(東京理科大学名誉教授) 中村 洋

2) 自己紹介と歓談: 全参加者

第2部 2023年度総会 (12月2日 10.00~10.30)

1) 事業報告, 2) 新規事業案, 3) 会員と新規入会者,

4) 役員と分担

第3部 触発講演 (10.30~11.10, 座長: 三上博久)

LC シニアクラブの継続発展に向けた提案

(東レリサーチセンター取締役) 竹澤正明

第4部 アルコール・ランチ付き放談会

「テーマ: 新技術開発, LC 研究懇談会, 人材育成など」

(11.10~13.00)

参加費 20,000円 (税込み10%)

参加申込方法 下記の申込先 URL から氏名・(元) 所属, メールアドレス, 電話番号などを記入してお申し込みください.

参加申込先 <https://forms.gle/zdycZuSxNXpvCizk9>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349, 口座名義: シヤ) ニホンブンセキカガクカイ [(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

申込締切 10月30日 (月) 入金締切時刻 15時

問合せ先 E-mail: nakamura@jsac.or.jp

第4回群馬・栃木地区分析技術交流会

主催 (公社)日本分析化学会関東支部、同群馬・栃木地区分析技術交流会、前橋工科大学工学部情報・生命工学群生物応用プログラム生体情報解析研究室

日時 2023年12月22日(金)14:00~17:00

開催方式 ハイブリッド形式(現地開催とZoomの併用)

会場 前橋工科大学1号館多目的ホール〔群馬県前橋市上佐鳥町460-1, 交通:前橋駅よりバス・タクシーで約15分〕

プログラム

「開会の辞」

「炭素薄膜電極をベースにした生体、環境分子のセンシング」
(埼玉工業大学)丹羽 修氏

「Chromogenic materials sensing pressure and heat through crystalline phase transitions」
(宇都宮大学)Kim Yuna氏

「研究開発と分析」

(日本分析化学会関東支部長・コーサー)安田純子氏

「閉会の辞」

参加費 無料

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します。詳細は下記連絡先にお問い合わせください。

参加申込 交流会参加希望者は、所属、氏名を明記のうえ、12月17日(金)までに、下記連絡先またはGoogle Formsからお申し込みください

Google Forms

<https://forms.gle/yYBZPtVCmm3TYWZQ6>

連絡先 前橋工科大学 菅原一晴

[E-mail: kzsuga@maebashi-it.ac.jp]

宇都宮大学 稲川有徳

[E-mail: ainagawa@cc.utsunomiya-u.ac.jp]

なお、交流会の情報の詳細は、下記ウェブサイトにて随時更新しております

<https://sites.google.com/view/jsac-kanto-gunma-tochigi/>

——以下の各件は本会が共催・協賛・後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第35回高分子基礎物性研究会講座

高分子測定入門 —考え方から解析法まで—

主催 (公社)高分子学会高分子基礎物性研究会

期日 2023年10月16日(月)・17日(火)

会場 産総研臨海副都心センター 別館会議室1, 2, 3

ホームページ

<https://member.spsj.or.jp/event/index.php?id=506>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F (公社)高分子学会 第35回高分子基礎物性研究会講座係 [電話:03-5540-3771, FAX:03-5540-3737]

大学院生・ポスドクのための

産総研所内紹介と在職女性研究者との懇談会

Graduate Students Laboratory Tours and

Round Table Talk with Women Researchers in AIST

主催 産業技術総合研究所イノベーション人材部ダイバーシティ推進室

期日 2023年10月24日(火)、11月1日(水)

会場 オンライン開催

ホームページ

https://www.aist.go.jp/aist_j/information/diversity/ivent_new/index.html

連絡先 〒305-8560 茨城県つくば市梅園1-1-1 (国研)産業技術総合研究所イノベーション人材部ダイバーシティ推進室 [E-mail: diversity-event-office-ml@aist.go.jp]

第59回熱測定討論会

主催 日本熱測定学会

期日 2023年10月24日(火)~26日(木)

会場 日本大学文理学部百周年記念館

ホームページ <https://www.netsu.org/59touron/>

連絡先 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮澤ビル601 日本熱測定学会事務局内 第59回熱測定討論会実行委員会 [電話:03-5821-7120, FAX:03-5821-7439, E-mail: netsu@mbd.nifty.com]

日本金属学会オンライン教育講座

「工業材料の応力・歪測定」

主催 (公社)日本金属学会

期日 2023年10月26日(木)・27日(金)

会場 オンライン (Zoom)

ホームページ <https://www.jim.or.jp/seminarsymposium/>

連絡先 〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1-14-32 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係 [電話:022-223-3685, FAX:022-223-6312, E-mail: meeting @jim.jp]

2023 年日本表面真空学会学術講演会

主催 (公社)日本表面真空学会
 期日 2023 年 10 月 31 日 (火)~11 月 2 日 (木)
 会場 名古屋国際会議場
 ホームページ
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jvss2023/top?lang=en>
 連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-16 石川ビル
 5 階 (公社)日本表面真空学会 2023 年学術講演会事務局
 [電話: 03-3812-0266, FAX: 03-3812-2897,
 E-mail: taikai2023@jvss.jp]

第 72 回プラスチックフィルム研究会講座

主題 = 加工・プロセス技術による
 プラスチックフィルムの新たな展開

主催 (公社)高分子学会 プラスチックフィルム研究会
 期日 2023 年 11 月 2 日 (木)
 会場 東京工業大学大岡山キャンパス西 9 号館コラボレーションルーム
 ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>
 連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル
 6F (公社)高分子学会 第 72 回プラスチックフィルム研究会講座係 [電話: 03-5540-3771, FAX: 03-5540-3737]

生物発光化学発光研究会第 38 回学術講演会

主催 生物発光化学発光研究会
 期日 2023 年 11 月 11 日 (土)
 会場 電気通信大学附属図書館マルチメディアホール
 ホームページ <http://www.blcl-ja.com/>
 連絡先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学専攻 基盤理工学専攻 牧昌次郎
 [電話: 042-443-5494, FAX: 042-486-1966,
 E-mail: s-maki@uec.ac.jp]

日本腐植物質学会第 39 回講演会および総会

主催 日本腐植物質学会
 期日 2023 年 11 月 11 日 (土)・12 日 (日)
 会場 創価大学 大教室 S202
 ホームページ https://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/meetings_info.html
 連絡先 〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236 創価大学理工学部内 第 39 回講演会実行委員長 山本修一
 [E-mail: syama@soka.ac.jp]

第 13 回イオン液体討論会

主催 イオン液体研究会
 期日 2023 年 11 月 21 日 (火)・22 日 (水)
 会場 朱鷺メッセ
 ホームページ <http://www.ilra.jp/>
 連絡先 イオン液体討論会事務局

[E-mail: ionicliquid@officepolaris.co.jp]

東海支部 2023 年度アドバンストセミナー
『ソフトマテリアルの機能化技術と研究動向』

主催 (一社)日本ゴム協会東海支部
 期日 2024 年 1 月 24 日 (水)
 会場 Web 講演会としてオンライン開催 (Zoom を利用)
 ホームページ
<https://www.srij.or.jp/newsite/branch/tokai/>
 連絡先 〒466-0858 愛知県名古屋市中昭和区折戸町 4-1
 (一社)日本ゴム協会東海支部
 [電話: 052-880-7389, FAX: 052-761-0520,
 E-mail: srij-tokai@sf.commufa.jp]

「分析化学」年間特集“分”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では 2010 年より「年間特集」を企画し、節目の 15 年目に当たる 2024 年は「分」をテーマとすることと致しました。

本特集では「分」をキーワードとして、基礎・応用を含めた分析化学の“最新の知見”はもちろん、総合論文や分析化学総説といった形で現在の分析化学の“研究の背景”についても広く募集し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。本特集に関わる論文はすべての論文種目で年間を通じてご投稿いただくことが可能で、審査を通過した論文は単行の特集号を除く「分析化学」第 73 巻 (2024 年) 合併号の冒頭に掲載する予定です。国内外、産学官を問わず、「分」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の 10・11 号及びホームページをご参照ください。

特集論文の対象: 「分」に関連した分析化学的な基礎・応用に関する論文。例を以下に示します。

- 1) 環境水や体液といった液体試料を分析するための前処理分離に関する研究、
- 2) さまざまな物質中から測定対象物質を分離抽出する技術に関する研究、
- 3) 環境からの有害物質の除去・有用物質の回収に関する研究、
- 4) クロマトグラフィーに関する基礎・応用研究、
- 5) 分離のシミュレーションを活用した分析化学的研究、
- 6) 生体サンプル中のバイオマーカー検出に関する研究。

特集論文原稿締切: 2023 年 11 月 17 日 (金) (第 2 期)

「分析化学」特集

“流れ分析—40 年の歩みとこれから”の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、フローインジェクション分析研究懇談会と共同で「流れ分析—40 年の歩みとこれから」と題した特集を企画しました。フローインジェクション分析研究懇談会は、1984 年に設立され、2024 年に 40 周年を迎えます。この間、様々な流れ分析のプラットフォームが開発され、発展してきました。また、JIS において規格化され、臨床、産業、環境をはじめとする様々な分野で活用されるようになりました。本特集号では、流れ分析のこれまでの発展に関する総合論文、流れ分析法の未来を切り開く新しいプラットフォームの開発、

新しい検出法や流れの特性を活かした検出反応、溶液のハンドリングを自動化し様々な測定器への直接導入を可能とした前処理法などの分析法をはじめ、流れ分析の迅速かつ高感度である特徴を活かしたアプリケーションの展開などについて報文などの投稿をお待ちしております。奮ってご投稿ください。詳細はホームページをご確認ください。

特集論文申込締切：2024年2月20日（火）

特集論文原稿締切：2024年4月12日（金）

「分析化学」編集委員会特集 「産業の発展に貢献する分析化学」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第6号に「編集委員会特集」として特集号を企画してきました。2024年度（第73巻）のテーマは、分析イノベーション交流会とのコラボレーション企画として、『産業の発展に貢献する分析化学』に決定いたしました。

分析イノベーション交流会は、主に産業分野における分析化学の発展を目的として設立された産官学の技術者・研究者の交流の場です。2020年1月のキックオフミーティングを皮切りに3回の交流会が開催され、また、2021年より年会・討論会の併設イベントとして「ものづくり技術交流会」が開催されています。これまで、企業・大学・研究機関・公設試験機関など150を超える機関から先進的かつ独創的な製品・技術が紹介され、分析イノベーション交流会での出会いがきっかけとなり、共同研究に発展したケースもあります。

上記状況に鑑み、「編集委員会特集」では、分析イノベーション交流会で紹介されてきた、個性的な技術・研究に着目しました。産業の発展に貢献するような分析技術、新素材の開発およびその応用に関する多数の論文の投稿をお待ちしております。なお、詳細は「分析化学」誌の10・11号及びホームページをご参照ください。

特集論文申込締切：2023年10月2日（金）

特集論文原稿締切：2023年12月4日（金）

初めて書く論文は母語の日本語で！ 「第23回若手研究者の初論文特集」募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2024年（第73巻）に第23回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載可になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が

持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]